

## ワーキング・グループの各回のテーマ・論点について

2015年12月21日

伊藤 健

「ワーキング・グループの成果イメージ」の取りまとめに向け、各回のWGでは以下の観点から議論を進めることとしてはどうか。

## 第1回会合

○テーマ：社会的インパクト評価の現状と課題

○論点：

## (1) 社会的インパクト評価が求められる背景

- ・近年、欧米を中心に社会的インパクト評価の実践や標準化に向けた動きが進んでいるが、社会的インパクト評価が求められる時代背景について、成果重視の流れや非財務情報重視の流れも踏まえて整理してはどうか。

## (2) 社会的インパクト評価の現状

- ・社会的インパクト評価の位置づけ
- ・欧米を中心に様々な機関・団体により実践・提言されている社会的インパクト評価を紹介。その上で、以下につき議論を深めてはどうか。
  - ① 今回のWGでの議論の範囲の確認（インパクトの定義、社会的インパクト評価の領域）
  - ② 社会的インパクト評価の目的
  - ③ 社会的インパクト評価の効果・意義

## 第2回会合

○テーマ：社会的インパクト評価における評価原則

○論点：

## (1) 社会的インパクト評価の構成要素・基本原則

- ・様々な機関・団体からガイドラインやフレームワークが提示・実践されているが、それらに共通する構成要素やプロセスを抽出し、イメージの共有を図ってはどうか。
- ・評価を実施する上での基本原則の共有を図ることとしてはどうか。

### 第3回会合

○テーマ：社会的インパクト評価のプロセス

○論点：評価プロセス（例えば、目標設定、理論構築、インパクト測定、評価の活用）の概念・意義、基本的な原則や留意点を整理してはどうか。

(1) 目標設定、理論構築

- ・ロジックモデルやセオリー・オブ・チェンジの考え方、実践事例

(2) インパクトの測定

- ・主な測定手法の特性、適性や留意点
- ・測定における留意点

(3) 評価の活用

- ・評価は成績簿・査定ではなく価値を引き出すもの、との観点を掘り下げ、評価の前向きな価値を確認してはどうか。

(4) 目的別の評価プロセス

- ・評価実施の目的に応じたプロセス

(5) 内外の評価実装事例

### 第4回会合

○テーマ：社会的インパクト評価実装に向けた検討

○論点：

(1) 日本において社会的インパクト評価が普及するための課題

- ・事前ヒアリングで各委員からいただいた課題や対応策について議論を深めてはどうか。

(2) 課題解決に向けて優先的に取り組むべき事項

- ・社会的インパクト評価普及に向けて、様々な課題がある中で、ブレークスルーを図るために、まずは当面優先して官民で取り組むべき事項について議論を深めてはどうか。

(3) WGの取りまとめ